

**都市計画道路
補助第144号線(番所橋通り)**
(江東区東砂五丁目～同区東砂六丁目)

事業概要及び測量説明会

東京都立東高等学校 しおさいホール

平成25年12月3日
東京都第五建設事務所

説明会の目的

本日の説明会では、

- ・道路整備事業の概要
- ・測量の実施内容

をご説明し、事業についてご理解・ご協力を頂くことを目的としています

事業箇所

都市計画の経緯

- ・昭和25年3月 江東区亀戸九丁目(京葉道路)から江東区東砂六丁目(葛西橋通り)にかけて都市計画決定
江東区歴史 ⇒ 昭和22年に深川区と城東区が合併し江東区が誕生する
昭和23年にキャスリン台風による水害を受ける
- ・昭和39年2月 江東区東砂六丁目(葛西橋通り)から江東区新砂三丁目(永代通り)を都市計画決定(見直し)
江東区歴史 ⇒ 昭和38年に清洲橋通りの葛西橋から今の葛西橋が完成する
昭和44年に地下鉄東西線が南砂まで開業する
- ・平成11年2月 江東区東砂六丁目(葛西橋通り)から江東区東砂八丁目(永代通り)の約0.7km間を事業着手
江東区歴史 ⇒ 平成12年に地下鉄大江戸線が開業する

事業範囲

将来幅員(東砂六丁目交差点より北側)

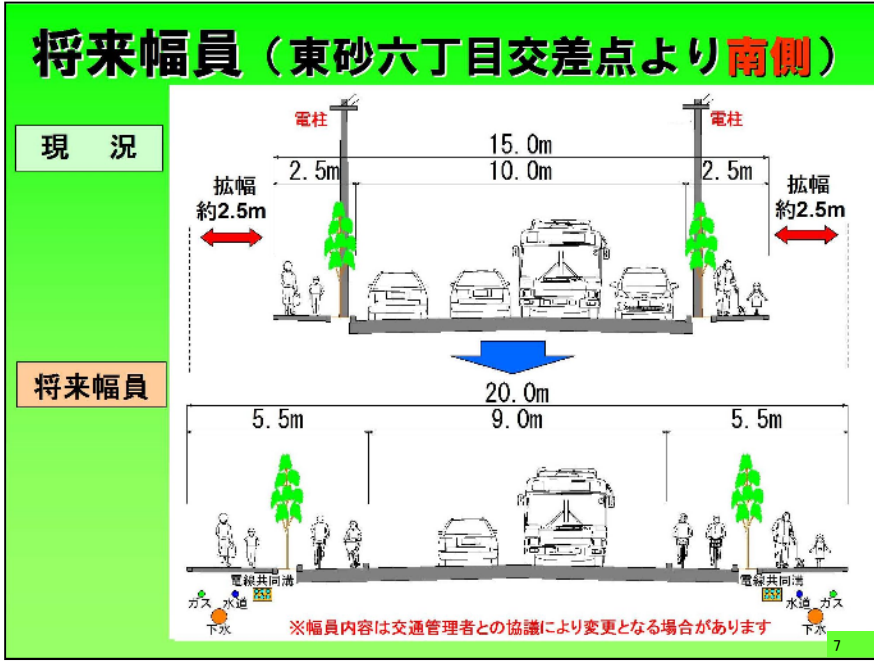
現況

15.0m (Total width)
10.8m (Roadway width)
2.7m (Sidewalk width)
拡幅約2.5m (Expansion on both sides)

将来幅員

20.0m (Total width)
13.0m (Roadway width)
3.5m (Sidewalk width)

※幅員内容は交通管理者との協議により変更となる場合があります



整備効果

- 交通の円滑化 ← 歩行者・自転車の安全安心な空間の確保
- 景観・環境の向上 ← 電線類地中化 良好な都市景観の創出
- 防災・安全の向上 ← 地域防災性の向上

防火生活圏、延焼の防止、耐火建築物、延焼遮断帯、電線類地中化

効果①（交通の円滑化）

○歩行および自転車通行空間の確保

東砂六丁目交差点より北側区間
歩道幅員 現状1.5m → 将来3.5m(予定)

効果③（景観・環境）

○電線類地中化および街路樹による良好な都市景観の形成

電線類を地下

効果④（景観・環境）

環境に配慮した道路構造

- 低騒音舗装により、平均して3~5デシベルの騒音が減ります。
- また、排水機能があるので水はねを抑える働きもあります。

